

調査結果の概要

1 2019年以降に行われた耐震改修工事の状況

2019年以降に耐震改修工事が行われた持ち家の割合は2.2%、「金具による補強」の割合が最も高い

2019年以降に耐震改修工事が行われた持ち家は4万1200戸で、持ち家全体の2.2%となっている。耐震改修工事の内容をみると、「金具による補強」が1万8800戸（2019年以降に耐震改修工事が行われた持ち家に占める割合45.6%）と最も多く、次いで「壁の新設・補強」が1万7100戸（同41.5%）、「筋かいの設置」が1万3800戸（同33.5%）などとなっている。

耐震改修工事が行われた持ち家の割合を建て方別にみると、一戸建の2.6%に対し、共同住宅は0.1%で、一戸建に比べ2.5ポイント低くなっている。また、構造別にみると、木造の2.8%に対し、非木造は0.9%で、木造に比べ1.9ポイント低くなっている。

<表1>

表1 住宅の建て方・構造・建築の時期、2019年以降の住宅の耐震改修工事の状況別持ち家数
—愛知県（2023年）

住宅の建て方・ 構造・ 建築の時期	2019年以降の住宅の耐震改修工事の状況別持ち家数						
	総数	うち工事を した 1)	壁の新設・ 補強	筋かいの 設置	基礎の補強	金具による 補強	その他
実数（戸）							
総数	1,913,500	41,200	17,100	13,800	13,600	18,800	6,700
（建て方）							
一戸建	1,551,300	40,200	16,600	13,500	13,300	18,500	6,400
長屋建	10,000	300	200	100	100	100	100
共同住宅	348,600	500	300	100	100	100	100
その他	3,600	200	0	100	100	100	100
（構造）							
木造	1,254,000	35,100	14,600	12,600	11,600	16,700	5,500
非木造	659,500	6,100	2,500	1,200	2,000	2,200	1,200
（建築の時期）							
1980年以前	400,200	14,100	5,900	5,000	3,600	7,100	2,200
1981年以降	1,480,500	25,800	10,800	8,500	9,500	11,200	4,100
割合-1（%） 2)							
総数	100.0	2.2	0.9	0.7	0.7	1.0	0.4
（建て方）							
一戸建	100.0	2.6	1.1	0.9	0.9	1.2	0.4
長屋建	100.0	3.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
共同住宅	100.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	100.0	5.6	0.0	2.8	2.8	2.8	2.8
（構造）							
木造	100.0	2.8	1.2	1.0	0.9	1.3	0.4
非木造	100.0	0.9	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2
（建築の時期）							
1980年以前	100.0	3.5	1.5	1.2	0.9	1.8	0.5
1981年以降	100.0	1.7	0.7	0.6	0.6	0.8	0.3
割合-2（%） 3)							
総数	-	100.0	41.5	33.5	33.0	45.6	16.3
（建て方）							
一戸建	-	100.0	41.3	33.6	33.1	46.0	15.9
長屋建	-	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
共同住宅	-	100.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0
その他	-	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0
（構造）							
木造	-	100.0	41.6	35.9	33.0	47.6	15.7
非木造	-	100.0	41.0	19.7	32.8	36.1	19.7
（建築の時期）							
1980年以前	-	100.0	41.8	35.5	25.5	50.4	15.6
1981年以降	-	100.0	41.9	32.9	36.8	43.4	15.9

- 1) 複数回答であるため、内訳の合計とは必ずしも一致しない。
- 2) 建て方、構造及び建築の時期別の持ち家総数に占める割合
- 3) 建て方、構造及び建築の時期別の住宅の耐震改修工事をした持ち家数に占める割合

2 住環境（最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離）

最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別世帯割合（65歳以上の世帯員のいる主世帯（以下「高齢者のいる世帯」という。））は、この20年間で「500m未満」が2倍以上に上昇、「1,000m以上」は半分以下に低下

高齢者のいる世帯について、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別世帯数をみると、「500m未満」が59万9200世帯（高齢者のいる世帯に占める割合48.4%）、「500～1,000m未満」が39万8700世帯（同32.2%）、「1,000m以上」が23万9200世帯（同19.3%）となっている。

距離別世帯割合の推移をみると、2003年から2023年までの20年間で「500m未満」が21.5%から48.4%と2倍以上に上昇している一方、「1,000m以上」が50.1%から19.3%と半分以下に低下している。

<表2、図1>

表2 最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別世帯数の推移（高齢者のいる世帯）
－愛知県（2003年～2023年）

年次	最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別世帯数（高齢者のいる世帯）							
	実数（世帯）				割合（%）			
	総数	500m未満	500～1,000m未満	1,000m以上	総数	500m未満	500～1,000m未満	1,000m以上
2003年	788,300	169,400	223,900	395,000	100.0	21.5	28.4	50.1
2008年	898,800	264,200	280,800	353,900	100.0	29.4	31.2	39.4
2013年	1,082,700	474,800	326,400	281,600	100.0	43.9	30.1	26.0
2018年	1,185,400	572,400	377,300	235,700	100.0	48.3	31.8	19.9
2023年	1,237,100	599,200	398,700	239,200	100.0	48.4	32.2	19.3

図1 最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別世帯割合の推移（高齢者のいる世帯）
－愛知県（2003年～2023年）

